

SGH企画：第12回さくら塾 高見剛先生講演会

演題：「医師をめざす」 開催日：平成28年3月7日(月)

講師：高見剛先生(岐阜大学名誉教授) 参加：1・2年生医学部志望者

社会に貢献する医師を目指し、医学科に合格するための特別講座を受講しました！

- 昨年、一昨年に続き、岐阜大学名誉教授の高見剛先生の講演会が行われました。医師の仕事や医学部医学科での研究活動、医学科受験対策について、詳しく話していただきました。
- 高見先生の教えを受けた関高卒業生(岐大医学生)も駆けつけ、有意義な談話会となりました。



<生徒の感想>

- 1時間10分ほどの短い講演会の中で、医療の体系や医学部が求めるものなど、医療に関する情報がぎゅっと凝縮されていて、自分の頭の中に入ってきました。大学で習うことについても、一枚のスライドで簡潔にまとめてあり、大変理解しやすかったです。そしてその中で、今、医者に必要なとされていることはコミュニケーション力だと言われたので、高校生のうちからできることはやっておきたいと思いました。この講演を聞いて、ますます医学や医療に興味が湧いてきました。医者を志すにはそれなりの努力を要すると思うので、春休みにはしっかりと1年生で習ったことを復習し、2年生につなげられるよう土台を固めたいと思いました。
- 今日のさくら塾を受講して、医学部のしくみや入試のことなど、詳しいことがたくさんわかってとてもためになりました。また、勉強法についても効率の良い暗記の方法なども教えていただきためになりました。このさくら塾でためになったことがたくさんあったので、これからの高校生活や将来に向けての進路について、しっかり生かしていきたいです。
- 岐阜大学医学部医学科について話が聞けてよかったです。私は第一志望校が岐阜大学なので、志望動機に盛り込むべきポイントなどが特に参考になりました。医学部医学科で学べることとして、一般的な医学だけでなくコミュニケーションパフォーマンス学を学べることに興味を持ちました。一度も患者の顔を見ないで診療が終わったと言うエピソードを聞いて、患者の顔色など体の外側を見ることも診断に必要なことだと思います。毎日何十人もの患者を診るとしても、一人一人と向き合ってヒポクラテスの誓いを守り続けられるのが一番理想だと思いました。関高校の先輩のお話を聞く機会もいただけて、受験へのモチベーションアップになりました。